

令和7年1月31日
北海道開発局

北海道で初めて「かわまち大賞」を受賞しました

～平取町による「かわまちづくり」が表彰されます～

平取町による「かわまちづくり」が、全国で進められている「かわまちづくり」の中から他の模範となる先進的な取組として「かわまち大賞」を受賞しましたので、お知らせします。

国土交通省では、水辺を活かして地域の賑わい創出を目指す取組「かわまちづくり」を推進しています。「かわまち大賞」は、全国286か所の「かわまちづくり」の中から、他の模範となる先進的な取組として表彰されるもので、平成30年度の賞創設以降、これまで全国で12か所が選定されています。令和6年度は平取町を含む全国で3か所の受賞が決定し、北海道内の「かわまちづくり」では初めての受賞となります。受賞者の表彰式は令和7年2月6日（木）に国土交通省にて行われ、国土交通大臣から表彰されます。

1) 全国の受賞箇所

かわまちづくり名称	推進主体	関係自治体
ひらとりちょう 平取町かわまちづくり	平取町アイヌ総合政策推進協議会（平取町）	北海道 平取町
せいせきさくらがおか 聖蹟桜ヶ丘かわまちづくり	聖蹟桜ヶ丘かわまちづくり協議会 一般社団法人聖蹟桜ヶ丘エリアマネジメント 多摩市	東京都 多摩市
うしづま 牛妻地区かわまちづくり	牛妻地区水辺利用調整協議会（静岡市）	静岡県 静岡市

平取町かわまちづくりの取組及び評価は、「別紙①」及び動画（<https://youtu.be/UZx3L-g8Erw>）をご覧ください。

2) 表彰式

日時：令和7年2月6日（木） 16時30分～16時45分頃

場所：国土交通省 国土交通大臣室（予定）

表彰式の詳細は、以下の国土交通省の報道発表をご参照ください。

国土交通省報道発表：https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo04_hh_000257.html

3) 添付資料

別紙①：受賞箇所の取組及び評価

参考①：「かわまち大賞」の概要

参考②：かわまちづくり支援制度の概要



「かわまちづくり支援制度」の概要は、以下の北海道開発局ホームページにも掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/kawa_kou/ud49g7000000ahtj.html

全国の取組は、以下の国土交通省ホームページの「全国かわまちづくりMAP」でご覧いただけます。

<https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyoku/machizukuri/map.html>



川へ行こう！ 川を楽しもう！

かわたび
ほっかいどう

北海道開発局では、川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等、川に関する情報を効果的に発信するとともに、地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、水辺利活用を促進し、北海道らしい地域づくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」を推進しています。

【問合せ先】

○かわまちづくり支援制度について

国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

建設部 河川工事課 河川技術対策官 三浦 剛志（内線5313）

上席治水専門官 大西 正容（内線5967）



北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

○平取町かわまちづくりについて

国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部 電話（ダイヤル）0143-25-7045

治水課 課長 中村 洋祐（内線291）

上席治水専門官 花山 知志（内線300）

平取町 アイヌ施策推進課 電話（代表）01457-2-2221

課長 木下 正人



びら とり ちょう

平取町かわまちづくり

【題名】 沙流川の歴史と文化遺産を活かした賑わいづくり

【河川】 沙流川水系・沙流川（一級河川）



かわまちづくりの概要

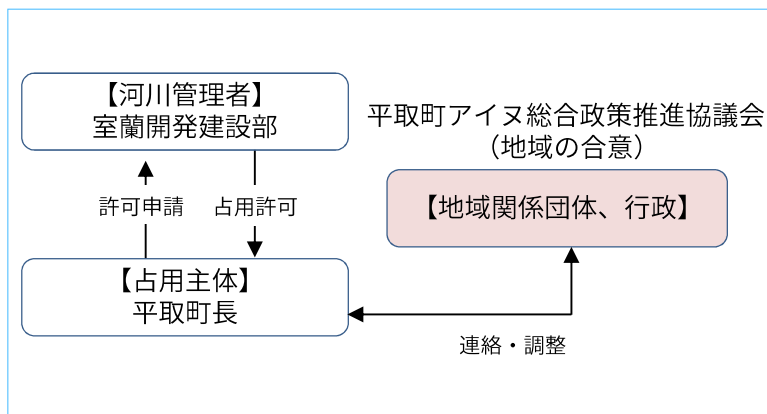
- ・河川敷をアイヌ文化の有用植物（カヤやガマ）の生育箇所として基盤整備し、町が移植作業を行い、カヤは伝統的住居「チセ」の材料として、ガマは民具の素材として活用している。また、フットパスや河岸の整備によりチササンケ（舟おろしの儀式）体験等のイベントを開催し、アイヌ文化を活かしたかわまちづくりに取り組んでいる。
- ・各分野の多様な主体が参入しアイヌ文化を学習する研修プログラムや定期的なイベント等の活動を実施しており、近年では活動の場を海外にも広げている。
- ・環境整備により終日体験プログラムの実施が可能となり、来訪者数の増加や滞在時間の向上につながっている。

評価のポイント

- ・地域や住民の文化の振興・保全や、これら文化と結びついたヨシ原の再生・保全等のために河川空間を明確に位置づけた、かわまち大賞として初めての取組であり、全国の河川空間の参考となることが期待される。
- ・地域や住民の文化遺産に不可欠な有用植物（カヤやガマ）の再生やその植物を用いた伝統的な建築様式の維持・継承など、河川空間のオープン化等の制度を活用し、民間事業者の恒久的な参入を得ながら、継続的に活動を実施している。
- ・世代を超えて地域や住民の文化が継承されるよう、町の「平取町アイヌ施策推進地域計画」に位置づけた上で、チセづくりの復元技術等を若い世代の担い手に継承するとともに、河川空間を効果的に活用している。

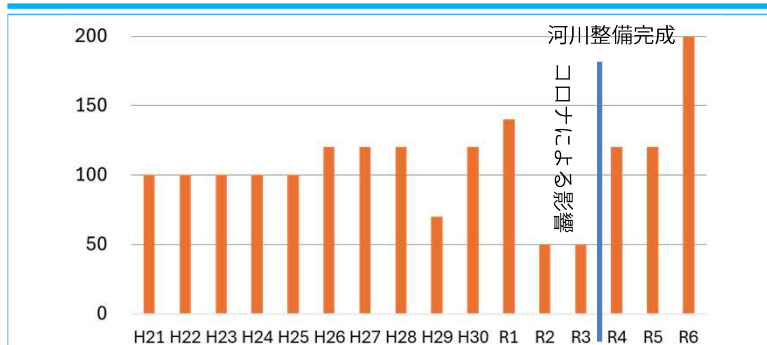
体制

- ・平取町アイヌ総合政策推進協議会



管理運営体制図

効果



チサ（丸木舟）の乗船体験者数

問合せ先：平取町アイヌ施策推進課

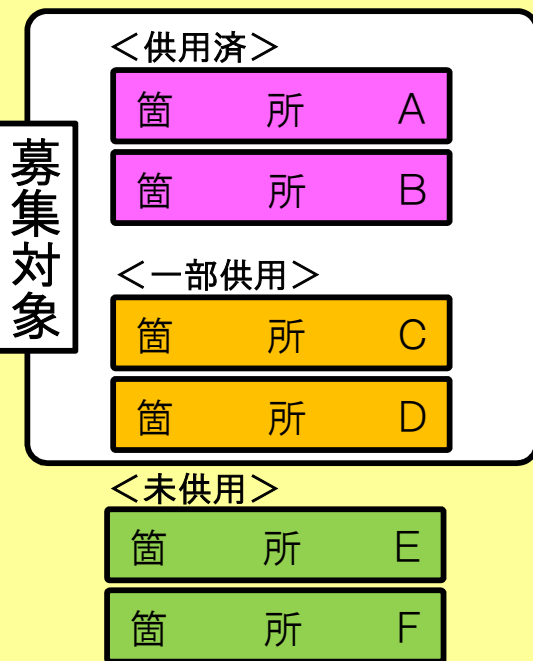
TEL：01457-2-2341

E-Mail：ainu.shisaku@town.biratori.lg.jp

「かわまち大賞」の概要

- ◆ 河川空間を活用し、地域の賑わいを創出した、他の模範となる先進的な取組を国土交通大臣が表彰し、その取組を全国に周知します。
- ◆ 取組団体を讃えるとともに、「かわまちづくり」支援制度を浸透させ、民間事業者の参入を促進し、民間事業者のもつ「ノウハウ」等を活かした質の高い「かわまちづくり」を目指します。

かわまちづくり支援制度への登録
(R6年8月時点:286か所)



応募

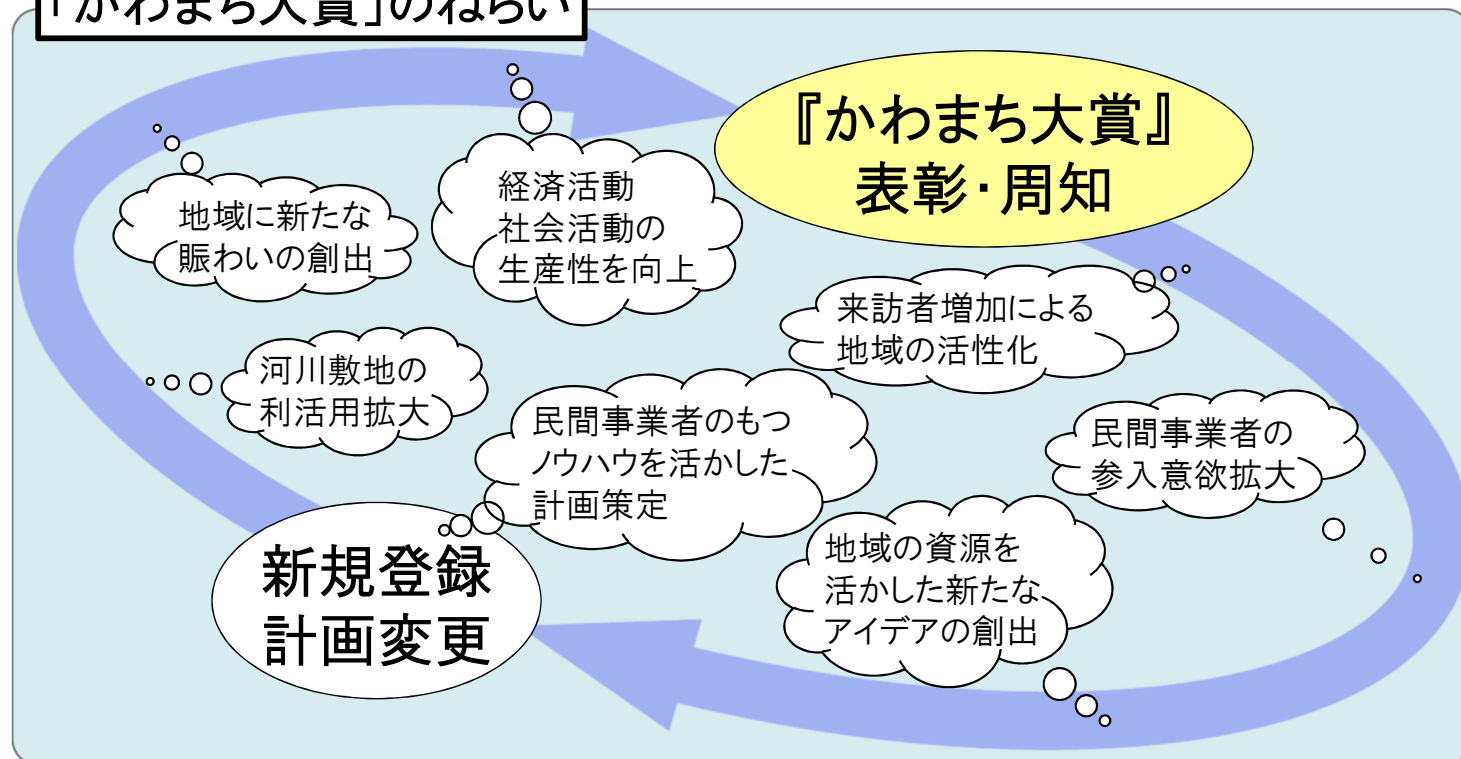
有識者で構成する
「審査委員会」
※建築・都市史、観光、地域政策、都市計画の分野の有識者で構成
※表彰まで委員名簿は非公開

審査
選定

国土交通大臣による
「表彰」

※受賞された応募主体に対し、表彰式を実施。

「かわまち大賞」のねらい



<募集対象>

「かわまちづくり」計画が登録されている286か所のうち、計画に基づく、全部又は一部が供用している箇所のうち、取組によって、地域のニーズに応じた利活用が図られ、地域活性化に一定の成果を上げている箇所を対象とします。

かわまちづくりウェブサイト：<https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyau/machizukuri/index.html>